

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| □‘誰一人取り残さない’まちづくり……………1P | □名古屋短期大学インターンシップ…………… 3P |
| □「通いの場」のモデル事業を開始……………2P | □「介護職員初任者研修」修了…………… 3P |
| □まちの先生講座……………2P | □男女共同参画事業…………… 3P |
| □女性のためのトコこし講座……………2P | □SDGs時代のパートナーシップを語る会… 3P |
| □waiwai交流会……………3P | □インフォメーション…………… 4P |

‘誰一人取り残さない’まちづくり

昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID19)がこの3カ月で世界的大流行となり、海外では都市封鎖も行われています。知多半島内の状況といえば、2月下旬よりイベント開催の自粛、さらには3月より公共施設が休館される等の活動制限がかかっています。半田市を拠点に活動する(N)りんりんでは、これに先駆けて職員の事務所の出入り制限をはじめ、最悪の事態に備える会議を開催し、事業の優先順位等について議論されました。これは「災害時における事業継続計画(BCP)を策定した経験が役に立っている」と、理事長の渡邊さんはおっしゃっていました。2019年度に作成したBCPづくりのガイドブックを同封させていただきましたので、皆様の地域でご活用いただければ幸いです。

■2020年度事業計画スタート

2020年3月16日に行われた第125回理事会において、2020年度事業計画・予算案が議決されましたことを以下の通りご報告申し上げます。

活動方針“0歳から100歳の地域包括ケア実現”に向けた2025(令和7)年ビジョンとして掲げた「0歳から100歳の地域包括ケアのまちづくり」とは、「活発な市民活動を基盤に、専門機関と連携した地域のセーフティネットが整い、高齢者はもとより、生活に困難を抱えるあらゆる世代の社会的弱者を包摂する、地域包括ケアのまちづくりが進んでいる」地域を目指しています。これらを達成するために立てた2020年度の取り組みは、2019年度から開始した継続事業になります。

①‘誰一人取り残さない’地域防災の取り組みとして、働く人の安全と持続可能な事業運営を考える事業継続計画(BCP)策定のための勉強会を各自治体と会員団体との協働により拡充していきます。具体的には、2019年度に一般財団法人ペガサス財団助成金事業で作成したガイドブックを参考にしながら、災害に強いまちづくりに寄与されるNPO法人レスキューストックヤード様とNPO法人ボランティアネイバーズ様の協力

の下、各地域での策定を進めていく予定です。

②‘誰一人取り残さない’居場所づくりの取り組みとして、高齢者地域コミュニティ参加促進事業(愛知県委託)を認定NPO法人絆との協働により、モデル的に居場所(通いの場)を30回、2回の啓発事業を行い、これらの開催状況や参加者の状況を分析します。3カ年にわたり実施する本事業は、具体的には、独居高齢者や男性の参加が進まない、参加者の固定化等の居場所が抱える課題解決策をマニュアルにまとめ、県内市町村に周知することにより、既存の通いの場における参加者促進や、新たな通いの場の設立促進を目的にしています。なお、事業開始だった2019年度の様子は中面にて報告させていただいておりますので、併せてご覧ください。

③在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会の取り組みとして、日本福祉大学、各自治体、社会福祉協議会、医療関係者の皆様とともに、研修モデルを検討し続けるネットワーク構築に寄与していきます。

これらの事業を支えるための組織運営は、2019年度に引き続き、①人のマネジメント、②情報交流、③資金マネジメント、④機関・会議運営を進めてまいります。最後に、まちづくりコーディネーターとして活躍した五十嵐と竹内(由)が3月末をもって退職となりました。2人のこれからの活躍を応援しつつ、新たなコーディネーター育成に注力してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(市野恵)

■2020年度通常総会・会員交流会のご案内

日にち 2020年5月28日(木)
会 場 知多市市民活動センター2階会議室
通常総会 10:00~12:00
会員交流会 13:30~15:30
テーマ 「SDGs時代のパートナーシップを語る会」
詳細は、中面にて掲載させていただいております。

■「通いの場」のモデル事業を開始

愛知県では、2019年度から3カ年、「通いの場（※）」のモデル事業を開始。「高齢者地域コミュニティ参加促進事業」として当法人が受託した。地域の「通いの場」に共通してある「男性の参加が少ない」「参加者が固定する」といった課題の解決を目指すため、効率的な設置や運営方法、実施内容を分析してマニュアルにまとめ、県内市町村への普及することを目的としている。

2019年度は、コミュニティで運営している南粕谷ハウス（知多市）で全4回を実施。「防災話とアロマキャンドルづくり」「レコードプレーヤーでの音楽鑑賞」「陶芸教室」など、本事業での要素となる「高齢者のみでなく、近親者も対象とした参加しやすいよう配慮したプログラム」「参加者への声掛けなどを行うコーディネーターを配置」「同じ内容の繰り返しではなく、多様な活動プログラム」に基づいた企画を行い、のべ約120人の参加が得られた。



「レコードプレーヤーで音楽鑑賞」では、昭和の流行曲から思い出話に広がり、当時は懐かしんだ。

さらに男性参加者を促進するため、南粕谷ハウスに男性コーディネーターを配置し、会話が苦手な男性でも音楽を聴いてもらい、楽しんでもらうことを目的として、「レコードプレーヤーで音楽を楽しむ会」を企画した。その結果、この回のみ唯一男性参加者が女性の人数を上回り、曲にまつわる昔話や当時の歌手やテレビの話に広がり、ロシア民謡や会社員時代の労働組合の歌をみんなで歌ったりなど、回想法となった。

2020年度は認定NPO法人絆（東浦町）が運営する「ラソ・プラザ」や「地域の縁側グリーン・ラソ」等で行う。（安藤）

（※）「通いの場」とは介護予防を推進するため、様々な活動を通じて仲間と楽しんだりリフレッシュしたりと、日々の生活に活力を取り入れてもらうために地域の高齢者が集う場のこと。

■まちの先生講座

2019年10月から2020年1月にかけて、知多市翔洋高等学校にて「まちの先生講座」を開催した。3年生を対象に、総合学習として、地域活動

をしている方々から学び、交流することを通して、コミュニケーション能力を身につけ、今後の地域活性化について考えることができる人材の育成を目的としている。

当法人の講座には、地域福祉に関心のある19人が参加した。全10回の講座では、サポートちたの概要や事業内容を説明し、障害研修で行っている、コミュニケーション障害の疑似体験や地域の中で自分たちができることについて考えるワークショップなどを行った。

愛知県職員のインターン3人にも、講座の一部を担当してもらい、それぞれの担当課の仕事内容の紹介や自身が現在までの進路を選択した経緯などを話した。

後半では、関心のあったテーマごとに、模造紙にまとめるという成果物の作成に取り組み、人口減少についての知多市の取り組みやまちづくりについて学んだことを共有した。（山森）

■女性のためのコト起こし講座

2月15日、知多市ふれあいプラザにて、ウイズセミナーby人財志事ツクール「女性のためのコト起こし講座」を開催した。ちた人財・志事ツクールネットワーク主催事業で、当法人はネットワーク構成団体である。市内在住の市民を中心に31人が参加した。

前半の講演会は、原田さとみさん（エシカルペネロープ㈱代表取締役）を招き、フェアトレードと出会いや現在の活動のきっかけになった、児童労働や世界の現状を話してもらい、「SDGsの取り組みとして私たちの身近な暮らしの中から



原田さとみさん講演会の様子

できることをしよう」と呼びかけた。

後半は知多市で活動する、伊藤友加子さん（㈱Gu・RADO代表取締役）、片山麻有さん（（一社）BumpyCompany代表理事）、富田敬子さん（ちた塾パステルカラーセラピー講師）を囲んで、現在の活動のきっかけや、ワーク・ライフ・バランスについて伺い、参加者と意見交換をした。

参加者からは、「女性が起業する姿をみて、勇気がもらえました」「意見交換もあり、いろいろな方の話や意見が聞けてよかったです」と好評だった。（竹内(由)）

■waiwai交流会

「災害時の備えと役立つアプリの活用」

waiwai 交流会は、知多市市民活動センターの登録団体や関心のある一般の方を対象に、様々なテーマで開催している。2019年度第2回は、2月26日に開催し、防災をテーマに、知多市防災危機管理課、パソコンボランティアまうすの会から講師を招き、15人が参加した。

市防災危機管理課、片山清勝さんは「南海トラフ地震が発生する確率は30年以内に70～80%。発生を止めることはできないが、減災対策はできる。普段から避難経路や避難場所について、家族で話し合っておくことが必要」と話した。まうすの会、大野進さんはスマートフォンアプリを活用した情報取得の方法やアプリ選択のポイント、災害用伝言版の使用方法をレクチャーした。アンケートで「備える大切さを知った」「アプリの情報が参考になった」との感想があった。(竹内(由))



災害用伝言版レクチャーの様子

■名古屋短期大学インターンシップ

2月、名古屋短期大学現代教養学科1年生2人を、9日間の日程で受け入れた。NPOインターンシップで、様々な体験や多世代の方々との交流を希望し、講座運営補助や～手づくりカフェ～Ada-codaの営業補助、会員団体2法人で現場体験など行った。



～手づくりカフェ～Ada-codaで体験している様子

体験を通してコミュニケーションの楽しさと難しさ、事務作業など学び、自身の得意なことや今後の課題が見えたようだ。(竹内(由))

■「介護職員初任者研修」修了

3月24日、日本福祉大学美浜校にて、受講生29人の介護職員初任者研修が修了した。講義開始の2月以降、新型コロナウイルス感染症が流行し始

め、研修の継続が懸念される中、講師や受講生の不安もあったが、それぞれが体調管理、咳エチケット、室内の換気などを心掛け、研修を継続した。現場実習は老人保健施設など5カ所を予定していたが、感染リスクを考え、実習参加を辞退し、代わりに4時間の振り返りを行った。

受講生からは、「いくつかの事例を通して、学んだ知識や支援技術を再確認できた」「利用者に対しての尊厳の保持、自立支援に目を向けることの大切さを学べた」という声があった。(山森)

■知多市男女共同参画行動計画策定事業

2020年度、知多市からの委託事業で「知多市男女共同参画行動計画（ウイズプランⅢ）策定」を行う。2020年度に「知多市男女共同参画行動計画（ウイズプランⅡ）が終期を迎えることから、2021年度にスタートさせる行動計画を策定する。

2019年度は、そのための基礎資料となる、「男女共同参画の住民意識調査」と「事業所の女性の活躍に関する調査」を行い、報告書を作成した。

政府は、2015年度に「第4次男女共同参画基本計画」を閣議決定し、地域における女性トップ（自治会長など）の割合を、現在の4.9%から、2020年度までに10%にすると目標決定した。女性リーダーのいる地域では、地域活動が活発になっており、当法人のビジョンである「0歳から100歳の地域包括ケアのまちづくり」とも密接に関係している。(早川)

■SDGs時代のパートナーシップを語る会

今年1月に刊行された「SDGs時代のパートナーシップ」は、17番目の持続可能な開発目標「パートナーシップで目標を達成しよう」で指摘されている「マルチステークホルダー・パートナーシップ」について、その課題に挑むための視座や、成果を導きつつある事例がまとめられている。その事例の一つに「地域包括的な福祉社会の構築」として、第14章に知多地域における「0歳から100歳の地域包括ケアのまちづくり」が掲載された。



そこで、今年度の会員交流会は、編者のお一人である川北秀人氏(IHOE)、著者の村野淳子氏(別府市危機管理課)、栗林知絵子氏(N)豊島子どもWAKU WAKUネットワーク、近江正隆氏(株)ノースプロダクション)をお迎えし、本書事例を通して語りあい、学びあえる機会として開催する。当法人にて本書の予約販売を行うため、是非、事前購読をお勧めしたい。(市野)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

■「小学校休業等対応助成金」「雇用調整助成金」

新型コロナウイルス感染症対策関連の助成金があります。2020年2月27日～6月30日までの間に、臨時休業等をした小学校等に通う子どもの世話を、保護者として行うことが必要になった労働者に対し、有休の休暇を取得させた事業主に対する助成金制度が創設されました。

また、事業主都合で休業した場合に、従業員には労働基準法第26条により、休業手当(平均賃金の60%)の支給が必要で、その休業手当額の2/3を補助してくれる雇用調整助成金というものがあります。4月1日から、助成率が90%に変更され、雇用保険非加入者も支給対象になりました。

新型コロナウイルス感染症対策に関する情報は、日々変化していますので、厚生労働省ホームページをご確認ください。

ホームページ：<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

(情報提供 社会保険労務士 加古 明)

■「働き方改革」スタート

2020年4月1日、中小企業への「働き方改革」がスタートしました。大きな柱は、時間外労働の制限です。1年後には、同一労働同一賃金も始まりますので、それに向け準備をしましょう。不明点がありましたら、社労士の加古先生に相談することも可能ですので、サポートちたまで、ご連絡ください。

(情報提供 社会保険労務士 加古 明)

■「地域共生社会の実現のための社会福祉法」改正

地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律案が、2020年3月6日に閣議決定されました。

主な点は、①地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築の支援、②地域の特性に応じた認知症施策や介護サービス提供体制の整備等の推進です。施行は、2021年4月1日。

法律案の概要は、下記アドレスをご覧ください。

概要：<https://www.mhlw.go.jp/content/000603796.pdf>

■サポートちたも「NPO事務支援センター」に

サポートちたは、NPO事務支援カンファレンスの加盟機関、NPO事務支援センターになりました。NPOの事務支援・個別支援を行います。お気軽にご相談ください。

ホームページ：<https://npo-office-support.jp/>

■就業移行支援事業所ルーチェ スタッフ大募集

〈職務〉支援業務(軽作業補助、職場体験同行)

簡単なワード、エクセル操作

〈勤務形態〉アルバイト(週3日程度、土日休み、時給1,000円、交通費10,000円/月)

〈申込〉4月1日～

〈問合せ〉(一社)soffice 就業移行支援事業所ルーチェ

☎0569-47-9450

住所：常滑市大野町5丁目96(大野町駅徒歩3分)

■「強度行動障害支援者養成研修(基礎)」中止

3月7日～8日に予定していた、強度行動障害支援者養成研修(基礎)は、新型コロナウイルス感染症対策により、中止いたしました。就業や開業に向け、資格取得を予定されていた皆様には、ご迷惑をおかけしました。コロナウイルスの収束の見通しは立っておりませんが、今後も最新情報を把握し、人材育成講座を継続して開講できるよう努めて参ります。

■「手づくりカフェAda-codaワンデイシェフ」休止

手づくりカフェAda-codaは、新型コロナウイルス感染症対策のため、4月中はお休みさせていただきます。5月には、再開予定です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

..*☆..*°..☆:* ..*°°.. ☆..*° ☆:*°:☆..*☆:*

会費納入のお願い

平素は、当法人の活動にご賛同いただきまして誠にありがとうございます。2020年度も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。なお、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご利用ください。

○正会員／(団体) 15,000円 (個人) 5,000円

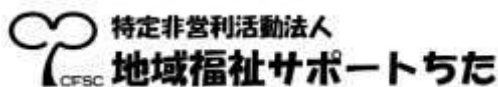
○準会員／(団体) 5,000円 (個人) 3,000円

新会員紹介

ご入会ありがとうございます。(2020/3/31現在)

【準/個人】大野 進 様

:*° ☆:*°:☆..*☆:* ..*°°.. ☆..*° ☆:*°:☆..*☆:*



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた

HP: cfsc.sunnyday.jp/

FB: facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda

HP: cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/

FB: facebook.com/Adacoda.cafe/